

平成29年度第3回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 29 年 7 月 24 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、清水、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	加藤 康太
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟退院後、転倒により再入院した患者の特徴について
研究内容 要旨	当院回復期リハビリテーション病棟において、退院後転倒により再入院した患者の特徴について明らかにし、転倒による再入院を予防するための今後のリハビリテーションに反映させることができると考えられる。
審議結果	条件付承認 2017-008
参考	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないもの」であり、「既存試料を用いて、集計・統計処理等を行うもの」と考えられたので、書類審議を行った。その結果、一部の委員から、以下のごとき意見があった。
意見	1.退院先を調査するとのことだが、 病院名、施設名までデータとして収集するのか、 急性期病院、療養型病院、介護老人施設、特別養護老人ホーム、自宅、親族宅などに分類して収集するのか。 病院名、施設名までデータとして収集しない方がよい。 2.介入研究ではないので、UMIN-CTRへの登録は不要である。
結論	これらの意見をふまえて、研究計画は以下のごとく修正された。 1.退院先は、①自宅 ②施設 ③転院 ④その他 に分類して調査する。 (病院名、施設名、は調査しない) 2.UMIN-CTRへの登録は行わない。 以上の研究計画の修正を確認し、承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	梅山 純
研究名	当院のフットケアの現状
研究内容 要旨	平成28年4月より診療報酬改定で下肢末梢動脈疾患指導管理加算が施行されたことに伴い、足病変のある患者の週1回もしくは毎透析日のフットチェックとともに、平成28年7月より全患者を対象に月1回フットチェックを実施している。今回、個々の患者様のフットケアに対する意識や現状を把握することで、今後の看護に活かせるのではないかと考え、アンケート調査を実施する。
審議結果	承認 2017-009
参考	無記名であり、心理的苦痛を伴わないアンケート調査であると考えられたので、書類審議の結果、承認とした。

新規研究計画の審議	
申請者	中村 有里
研究名	透析穿刺針のサイズ変更を検討するための指標を作成する
研究内容 要旨	透析を行う際、設定された血液流量を確保する必要がある。しかし、設定された血液流量に対して、穿刺針のサイズが小さいことや、血液粘度が高いことによって、設定した血液流量が確保できない場合がある。そこで、血液流量及び血液粘度に応じた適切な穿刺針を選ぶ目安を作成する。
審議結果	条件付承認 2017-010
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
意見	説明書に、分担研究者の所属、職名、氏名も記載する。 計画書、説明書の逆流長 -4cm を 4cm に改める。 研究終了後の対応について記載する。 例えば、この研究の結果、16Gの穿刺針より15Gの穿刺針の方が有効と判断された患者には、研究終了後も15Gの穿刺針を用いることなどを記載する。
新規研究計画の審議	
申請者	服部 純子
研究名	環境照度が姿勢調節に及ぼす影響
研究内容 要旨	本研究は、環境照度を設定し、重心動揺計上にて立ち上がりおよび静止立位課題を行い、暗い環境照度が有疾患者の姿勢調節に及ぼす影響を明らかにすることとした。環境照度の基準が設定されることで、夜間帯の照明環境を設定しやすくなり、転倒が少なくなる可能性が考えられる。
審議結果	承認 2017-011
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。